

10 人や国の不平等
をなくそう

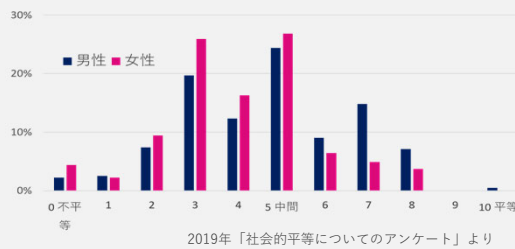


一人ひとりが なりたい自分をめざして挑戦できる社会 を実現するために

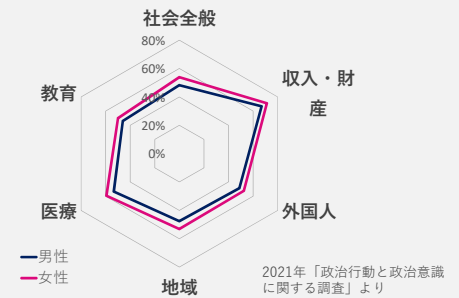
筑波大学 人文社会国際比較研究機構(ICR) では、研究機関として不平等の解消をめざし、国際的な協力のもと活動しています。

人々が感じる不平等を調査

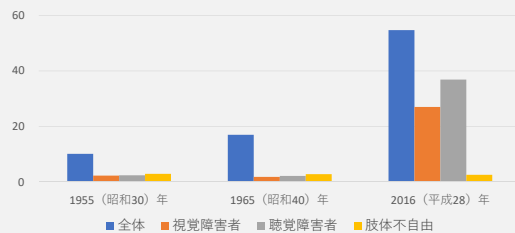
人々は今の社会をどの程度 不平等だと思っているのか？



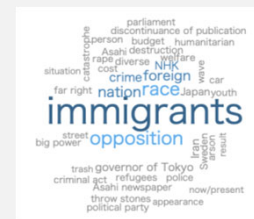
コロナ禍により不平等は拡大したか？



障害があっても大学で学べるか？



外国人と共に暮らせると思うか？



収入や財産の格差だけでなく、性別・年代・人種・学歴などいろいろな差がある

不平等の解消をめざす私たちの取り組み

すべての人の声を政治に届ける システムづくり

オーストリアやドイツの研究機関連携し、E-democracyを活用した社会的弱者の政治参加支援を行っています。

E-democracy: インターネットなどの情報通信技術を用いて様々な民主主義モデルにおける政治プロセスを強化する技術

EGOV-CeDEM-ePart

AI活用に向けた倫理的・法的・社会的問題の解決

AIやデジタル技術は私たちの生活を便利にしてくれます。しかし、新しい問題も発生します。

- うまく使いこなせる人と使いこなせない人の格差が広がるおそれがあります。
- 個人情報漏れるなどの不安から利用に躊躇する人もいます。

誰もが安全・安心にAIを利用できるためのコミュニケーションや合意形成のあり方を考えています。



筑波大学は国際大学協会 (IAU) の幹事校として目標10に取り組んでいます



ICRは現在UNESCO本部にある国際大学協会のIAU Cluster on Higher Education for Sustainable Development (持続維持可能な開発に関する高等教育プロジェクト) にCluster Head (幹事校) として参加。グローバルネットワークでSDGsと大学教育を考える取り組みを推進しています。

- 2019年1月
フランス パリ UNESCO本部初会合 (招待)
- 2019年7月
アメリカ国連本部ハイ・レベル・ポリティカル・フォーラムで招待発表

